

撮影時に真正性確認済メタデータで署名し、利用者のファクトチェックを簡易化します コンテンツのフェイク対策技術

背景 – 技術課題

コンテンツの来歴情報を付与する形式を規定する標準仕様C2PAは存在するが、付与する情報の真正性については検証されません。また、利用者によるファクトチェックに有効な、効率の良い表示手法が確立されていません。



研究目標 – 成果

SNSやAIで偽情報が増加しています。撮影時に真正性検証済のメタデータにより署名することで、本来高い専門性が必要なファクトチェックの簡易化を実現します。

技術ポイント

01 要素技術

撮影時の真正性検証済メタデータ署名で偽情報抑制と信頼性向上、可視化を実現

02 市中技術差異点

- 付与するメタデータの複数ソースと比較した真正性の検証
- データチェック時のデータの可視化、検証の根拠の提示

利用シーン 情報技術

R&Dフェーズ 開発

技術確立予定時期 FY27-29

ビジネス化予定時期 FY30以降

【出展企業】

株式会社NTTドコモ R&Dイノベーション本部

【問い合わせ先】

モバイルイノベーションテック部 モバイルアーキテクト担当

【共同出展社/社外連携先】

NTTドコモビジネス株式会社

【関連Link】

https://w.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/d_syohi/taisakugijutsu_fy2025.html